

美土里地区地域づくり協議会（モデル事業）

美土里地区の魅力と課題を見つめ直し、「人と人のつながり」をつくるための取組みを考える
「こんな地区にしたい」「こんなまちに暮らしたい」という将来像をイメージする

◆第1回と第2回の振り返り

<第1回の意見交換の意見>

- ・イベントを開催してもその周知や中止のお知らせをするのが困難
- ・後継者が見つからないことが問題で、いつまでも役を交代できない
- ・地域の良さを子どもたちに伝えられていない
 - ・隣近所に声を掛け合えるような地域になってほしい
 - ・交通量が多くても歩道がない箇所もある。安全にしてほしい
 - ・企業を誘致し子どもたちが働く場ができてほしい
 - ・消防団の新入分団員が集まらない。小中学校などを借りて魅力を伝えたい
 - ・イベントではたくさん周知することが重要



<第2回のグループワーク意見>

地域の課題	理想の将来像	解決のための具体策
<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの違反が多い ・ゴミステーションが汚い ・犬猫のフン書がなくなる ・近所に高齢で外に出られない方が多い ・近所の人達と会う機会が少ない ・地区内の行事が知られていない ・昔からの行事が少なくなっている ・通学路の確保が必要 ・歩道が整備されていない箇所がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出しのルールが守られる ・ペットの動物を適正に扱う ・つながりができる ・声を掛けて独りにさせない ・子どもが地域に参加し伝統が伝えられる ・横の連携で行事などを教え合う ・子どもが地域のことを知っている ・道路がきれいでも歩道がつく ・すごい企業が見つかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミステーションに防犯カメラ設置 ・当番制でゴミをチェック ・公民館で取りまとめて情報発信 ・各コミュニティに補助金を出す ・月に1日は地域で過ごす ・地域ぐるみの運動会をする ・大人が子どもに声掛けする ・通学路点検をする、看板をつける ・企業でのバザーや見学会を実施

<第3回のグループワーク意見>

班や地区のまとまりをつくる、学校との連携で子どもと一緒に、地域のルールづくりを	
地域交流	地域内の催事を共有して広報する、字ごとで小規模イベントを開催（上大塚フェスティバル）、清掃活動で近所の人と会う機会を、高齢者に聞いて昔からの行事を復活、班で意見を聞き出し合う、どんなときでも挨拶する、地域の中で趣味の合う仲間づくり
コミュニティ	将来を見据えて乗合タクシーの仕組みづくり、若者を巻き込んだ井戸端会議の開催、公民館や公会堂で趣味活動、みどりカフェ（気軽に集えるお茶飲み場）、独り暮らし高齢者を回って声掛け、話し相手になる
学校教育	小中一貫校の設置、部活動地域移行のための指導者リスト作成、地域リーダーの設置、コミュニティスクール(西ドリームネット)の周知、SNSの活用、地域の方が学校に立ち寄り雰囲気づくり、地域づくり協議会と学校運営協議会の一体的推進
郷土史学習	美土里地区の郷土史を研究し広報する、小学生が地域のことを知る、地域の詳しい人が講師になり見学を実施
情報発信	LINEの活用、行事の中止連絡、地域内で一言に共有できる方法
企業	企業の説明会、企業見学会、地域と企業の連携による商品開発、日頃からの付き合い
道路・信号	通学路の危険箇所の把握、グループをつくって情報共有、家庭で交通安全の意識向上、行政との連絡手段の構築、渋滞緩和のための信号の適正化(右折信号の設置)
ゴミ対策	外国人のためのごみ出しルール標示、防犯カメラの設置、当番制でゴミ出しチェック、ゴミ袋への名前明記
補助金	補助金の内容を広く広報・共有する
担い手不足	退職直後の人に声掛けをする、行政が関わっていく
人口問題	結婚・出産祝い金の設置、シンボルとなる公園をつくる、移住したくなる制度づくり

◆第4回の「美土里地域づくり協議会（モデル事業）」を開催します

令和5年1月16日（月） 18:00～

第4回となる今回の会議はモデル事業の最終回の予定です。

来年度の本格的なスタートに向けて、どのような組織であると活発に円滑に進めることができるか、どういった人が委員であるとよいかなどを話し合います。

地域づくり協議会（モデル事業） 令和4年度の流れ

美土里地域づくり協議会（委員16名）

第0回	8月9日（火） 19:00～	会議内容 ①地域づくり協議会と地域づくりセンターについて ②地域づくり協議会の人選について
第1回	9月30日（金） 19:00～20:30 90分	テーマ 「地域づくり協議会に関する勉強会」「こんな美土里地区に暮らしたい」 会議内容 ①「地域づくり協議会」及び「地域づくりセンター」について（地域づくり課説明） ②「地域づくり協議会事業に向けて」（熊倉教授解説） ③「こんな美土里地区に暮らしたい」（委員から発言：懇話会形式） 令和5年度から「公民館」を「地域づくりセンター」に移行し、「地域づくり協議会」を設立することについて説明。委員から地区内での現状や課題、希望等について意見を出し合った。 キーワード 若者のケア、イベントの開催、市内の交通が不便、隣近所で声掛けできる環境、後継者問題、企業誘致・雇用促進、意見を言い合える場
第2回	11月4日（金） 18:00～19:30 90分	テーマ 地域の魅力や課題にどんなものがあるか考える「取り組むべき課題を探る」 会議内容 ①第1回の振り返り ②グループワーク（8人×2）「地域の魅力や課題を探る」 ③グループワーク発表 美土里地区の中で人と人がつながりをつくっていくためにどんな取り組みが必要か。地区内で考えられる課題、それに対し理想の将来像、そのために必要な取組み(解決策)について意見を出し合う。 付箋(赤-課題、青-理想像、黄-解決策)に考えを書き出し、順番に模造紙に貼っていき意見の共有、グルーピングを行った。 キーワード 人付き合い、ゴミ、道路・交通、公園、動物の適正飼育、若い人が参加できるイベント、イベントを通じた地域の魅力発信、情報発信、企業との連携、通学路の整備、コミュニティへの補助金、後継者不足
第3回	12月2日（金） 18:00～19:30 90分	テーマ 地域の課題を解決する方法を具体化する。 会議内容 ①第1回、第2回の振り返り ②グループワーク（8人×2）「課題解決のためにできることを考える」 ③グループワーク発表 課題解決を具体的にするためのグループワークを実施。自分が取り組みたいと思う事3つを紙に書き出しその紙を隣の人に回していき、ひとりずつ自分なりの意見を書き込み共有しながら具体化していく。グループ内で取り組みたい内容を相談していつか絞り込みまとめた。 キーワード 地域交流、コミュニティ、学校教育・連携、郷土史、情報発信、企業連携、道路・交通、ゴミ対策、補助金の周知
第4回	1月16日（月） 18:00～	テーマ 「令和5年度に向けた体制づくりを確認しよう」 地域づくり協議会がどんな組織であればよいか考える。 会議内容 ①第1回、第2回、第3回の振り返り ②令和4年度モデル事業のまとめ ③令和5年度からの協議会の組織やメンバー等 令和5年度から本格スタートするにあたり、第1回から第3階までの意見を踏まえて協議会の進め方や体制、人選などについて考える。
備考		

